
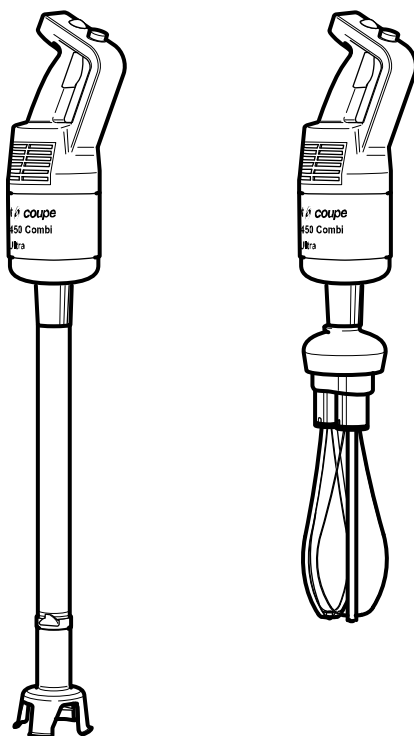


スティックブレンダー（コンビタイプ）【ロボクーブ】
MP-350UC/MP-450UC（業務用）

robot  coupe®

取扱説明書



このたびは、当社のロボクーブ スティックブレンダー（コンビタイプ）（MP-350UC / MP-450UC）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ



安全上のご注意.....	1~7
各部の名称.....	8
電源コードと電源について.....	9・10
操作手順.....	11~30
ミキサー.....	11~20
ミキサー部の組み立て方法.....	11・12
ミキサー部の分解方法.....	13・14
ミキサーを使って調理.....	15~17
ミキサーと連続運転を使って調理.....	18~20
ホイッパー.....	21~30
ホイッパー部の組み立て方法.....	21・22
ホイッパー部の分解方法.....	23・24
ホイッパーを使って調理.....	25~27
ホイッパーと連続運転を使って調理.....	28~30
パンサポート(オプション)について.....	31
お手入れ.....	32~36
収納について.....	37・38
フットシールの交換.....	39
本機から電源コードを取り外すには.....	39
故障の診断と手当.....	40・41
仕様.....	44
保証書(別添付)について/消耗部品/補修用性能部品の保有期間.....	45

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

付属している専用の電源コード以外は、本機に接続しないこと

他の電源コードを使用されますと、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

付属している専用の電源コードを他の機器に使用しないこと

他の機器に接続されますと、機器の接続部を破損させたり、漏電、ショート、感電の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易い場所で使用しないこと

モーターケースや電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

モーターケースに直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 警告



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本機のスイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は操作スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くか、本機専用電源を『OFF(切)』にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



換気

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



接触禁止

ナイフは鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと

ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

⚠ 警告



容器内

本機を始動させたり、止めたりするときは、必ず食材の入った容器の中にベルカバー部分、またはホイッパー先端を差し込んだ状態でおこなってください。

ナイフ、または攪拌羽根がひとに触れたりしますと、ケガの原因になります。ナイフ、または攪拌羽根を回転させた状態で食材に差し込んだり、食材から抜いたりしますと、食材が飛び散り周囲を汚す原因になります。



しっかり持つ

調理中は、ハンドルとフットの上部をしっかりと持つこと

本機を落としたり、倒したりしますと、ケガの原因になります。食材の容器を倒したりした場合、周囲を汚す原因になります。熱い食材を調理中の場合、食材が体にかかると、やけどの原因になります。



容器の重さ

パンサポート（オプション）を使用する場合は、容器に食材を入れた状態で、本機を十分にささえる重さにすること

本機を落としたり、倒したりしますと、ケガの原因になります。食材が入った容器を倒した場合、周囲を汚す原因になります。熱い食材が入った容器を倒した場合、やけどの原因になります。



しっかり固定

パンサポート（オプション）を使用するときは、本機が倒れないようにしっかりと固定すること

本機を倒したりしますと、ケガの原因になります。食材が入った容器を倒した場合、周囲を汚す原因になります。熱い食材が入った容器を倒した場合、やけどの原因になります。



接触禁止

ナイフ、または攪拌羽根の回転中は、絶対に指、箸、ヘラなどを容器に入れないこと

誤ってナイフ、または攪拌羽根に触れた場合、ケガの原因になります。ナイフ、または攪拌羽根や箸、ヘラなどが破損した場合は異物混入の原因になります。



停止確認

ナイフ、または攪拌羽根の回転が完全に止まってから、本機を容器から抜くこと

ナイフ、または攪拌羽根の回転が止まらないうちに容器から抜くと、ケガの原因になります。食材が飛び散り、周囲をよごす原因になります。



プラグを抜く

容器に食材を入れるときや取り出すときは、操作スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、電源プラグも抜いて、本機を容器から抜くこと

回転しているナイフ、または攪拌羽根に触れた場合、ケガの原因になります。誤って、操作スイッチを押した場合も、ケガの原因になります。



プラグを抜く

本機へのベルカバー、またはホイッパーの取り付け、取り外しのときは、操作スイッチを「OFF(切)」にして、必ず電源プラグを抜いてからおこなうこと

誤って、操作スイッチを押した場合、ケガの原因になります。

⚠ 警告



ツールセット

ベルカバー内へのナイフの取り付けや、取り外しのときは、付属のツールセットを使用し、料理用手袋や厚い布などで手を保護すること

ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



禁止

修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

モーターケース内に食材などが入らないようにすること

食材がモーターケースに入った場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

熱い食材（85℃以下）を調理する場合は、湯気がモーターケースにかからないようにすること

モーターケースの中に湯気が入り込みますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の操作スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



プラグを抜く

本機の清掃のときや点検のときは、必ず操作スイッチを切って機械を止め、電源プラグも抜くこと

誤って操作スイッチを入れた場合、ナイフが回転してケガの原因になります。漏電、ショート、感電の原因になります。



除菌洗浄

ナイフ、ベルカバー、フット、攪拌羽根は使用后、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



漬け置き禁止

お手入れのときは、ナイフを洗浄液の入ったコンテナやシンクなどに、漬けたままにしておかないこと

泡でナイフの刃が見えなくなり、誤ってナイフの刃に触れると、ケガの原因になります。



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。

⚠ 注意



禁止

本機を使用しないときは、水を入れた容器などの上に置かないこと

水の中に落下した場合、電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



熱器具禁止

本機の使用以外のときは、熱器具の周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



収納

本機を使用しないときは、ウォールサポートに掛けて収納すること

そのまま壁などに立てかけたりした場合、転倒によるケガの原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、安全のため操作スイッチが切れているのを確認し、電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

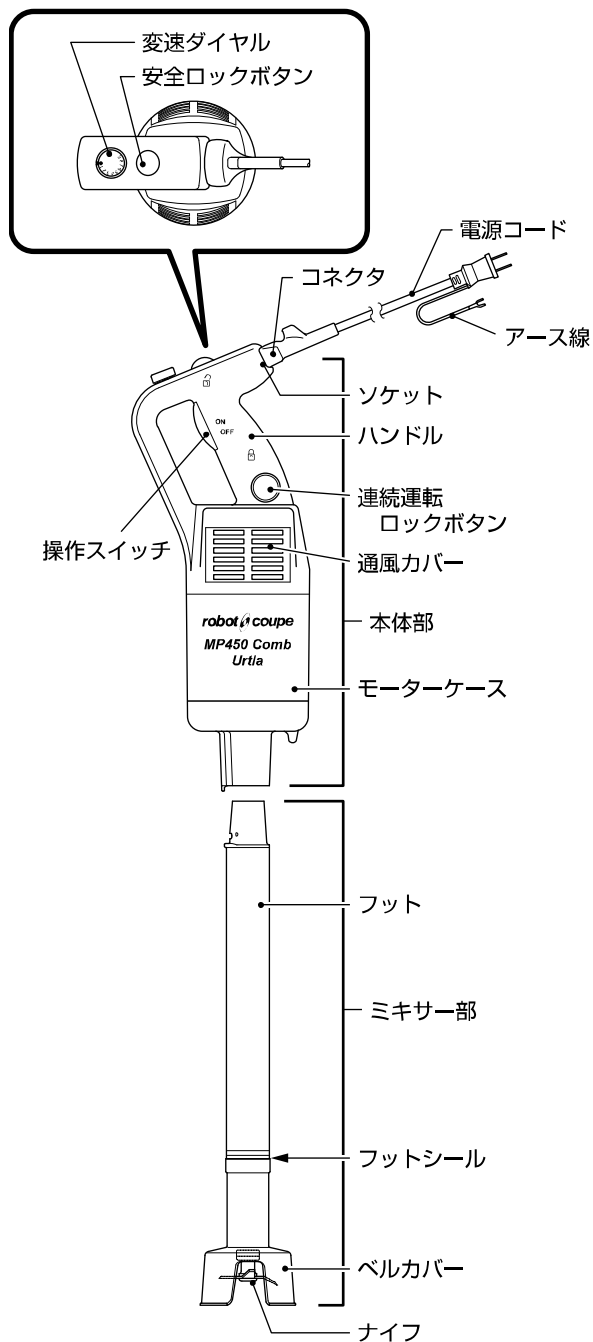


テープ止め

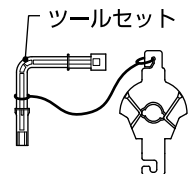
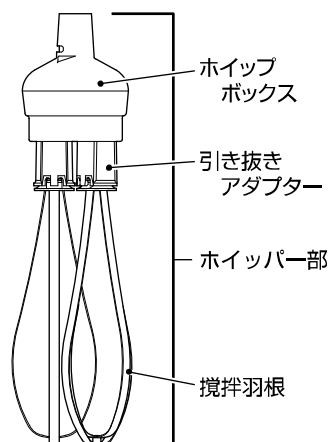
このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称

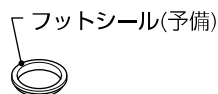
本機は、容器に入った液体状の食材に差し込み、食材を粉碎、攪拌する機械です。



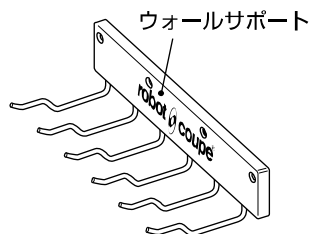
付属品



ナイフと、ベルカバーの分解や組み立てに使用する専用工具です。



本機のフットシールが、破損や劣化などした場合に交換してください。(P.37参照)



スティックブレンダーを壁に立て掛けるための治具です。(P.37参照)
(※取り付けのためのビスなどは、付属していません。)

電源コードと電源について

警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備の専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



水などがかからないようにすること
モーターケースと電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



アース線を必ず接続すること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



付属している専用の電源コード以外は、本機に接続しないこと
他の電源コードを使用されますと、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



付属している専用の電源コードを他の機器に使用しないこと
他の機器に接続されますと、機器の接続部を破損させたり、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。

付属の電源コードを本機に接続してください

本機をお使いになる前に付属の電源コードを本機に接続してください

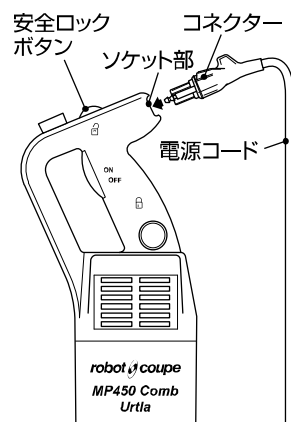
電源コードのコネクターを本機のソケット部に差し込み、「ガチッ」と音がするところまで押し込んでください。

安全ロックボタンを押せるか確認してください

安全ロックボタンが押せましたら接続は完了です。

安全ロックボタンが硬くて押せない場合は、コネクターが奥まで差し込まれていない状態です。

そのときは、コネクターをさらにしっかり押し込んで奥まで差し込んでください。



お願い

電源コードは、不具合などで交換が必要なとき以外は、本機から取り外さないでください。

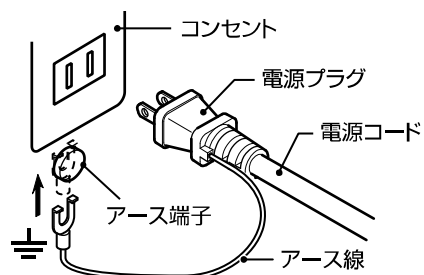
電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。

電源コードを破損する原因になります。

本機は、コンセントに電源プラグを接続した場合、コードに余裕がある範囲内で使用してください

電源コードの長さ：3.6m

電源プラグのアース線をアース端子に接続してください



ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグを差し込んでください

お願い

延長ケーブルを使わずに直接 100V のコンセントに接続してください。

長い延長ケーブルなどを使用しますと、電圧降下のため起動しないことがあり、電圧降下が大きい場合（モーター起動電圧AC85V以下）は、モーターの起動電流値が異常に高くなり、故障の原因になります。

操作手順

ミキサー

ミキサー部の組み立て方法

⚠ 警告



ミキサー部、またはホイッパー部の分解、組み立てのときは、操作スイッチを「OFF(切)」にして、必ず電源プラグを抜いてからおこなうこと
誤って、操作スイッチを押した場合、ケガの原因になります。

1. ベルカバーにナイフとドライブカップリングを取り付けてください

⚠ 警告



ベルカバー内へのナイフの取り付けや、取り外しのときは、付属のツールセットを使用し、料理用手袋や厚い布などで手を保護すること
ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

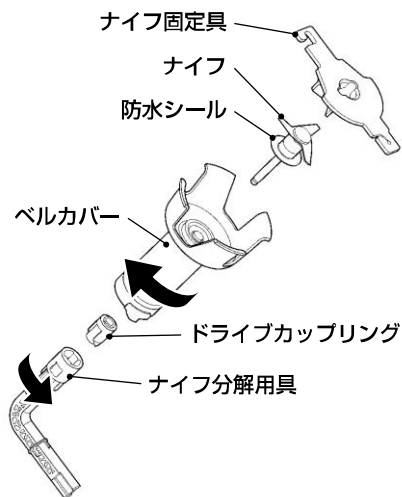
ツールセットのナイフ固定具をナイフが固定される向きに合わせてはめ込んでください。

ツールセットのナイフ分解用具にドライブカップリングをはめ込んでください。

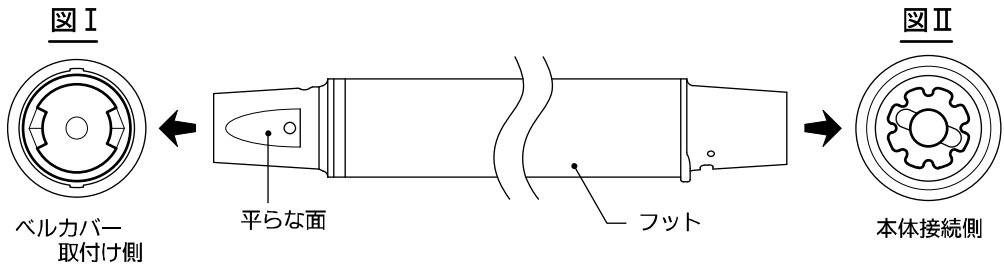
ベルカバーにナイフと、ドライブカップリングを取り付けてください。

ナイフ固定具をしっかり支えながら、ナイフ分解用具を反時計方向に回し、ドライブカップリングとナイフを固定してください。

ナイフ固定具とナイフ分解用具を取り外してください。



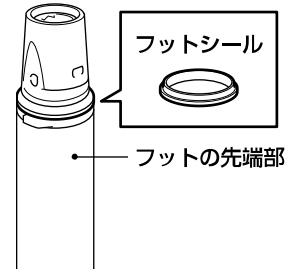
2. フットにベルカバーを取り付けてください



フット先端にある穴の形状が「図 I」の側にフットシールが取り付けられていることを確認してください。

お願い

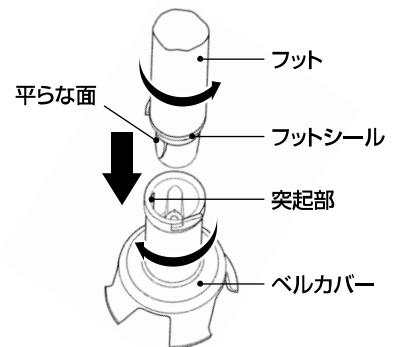
フットシールは、必ず取り付けてください。
フットシールを取り付けずに調理をおこなうと、フットやベルカバーの内部へ食材などが浸入し、故障の原因になります。



ベルカバーは、フット先端にある穴の形状が「図 I」の側に取り付けてください。

フット先端にある平らな面をベルカバー軸穴内部にある突起に合わせて、差し込んでください。

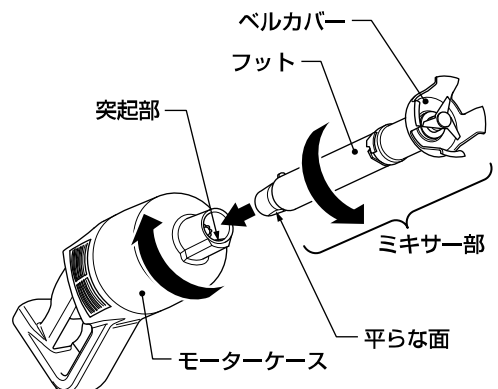
右図のように矢印方向（ベルカバーは時計方向、フットは反時計方向）に止まるところまでしっかり回してください。



3. 本機のモーターケースに、ミキサー部を取り付けてください

ミキサー部のフット先端にある平らな面をモーターケース軸穴内部にある突起に合わせて、差し込んでください。

右図のように矢印方向（モーターケースは時計方向、ミキサー部は反時計方向）に止まるところまでしっかり回してください。



ミキサー部の分解方法

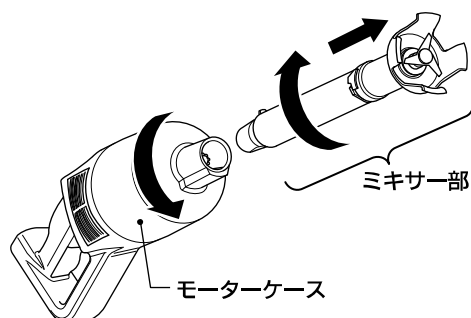
⚠ 警告



ミキサー部、またはホイッパー部の分解、組み立てのときは、操作スイッチを「OFF(切)」にして、必ず電源プラグを抜いてからおこなうこと
誤って、操作スイッチを押した場合、ケガの原因になります。

1. 本機のモーターケースからミキサー部を取り外してください

モーターケースが動かないように押さえながら、ミキサー部を時計方向に回して取り外してください。

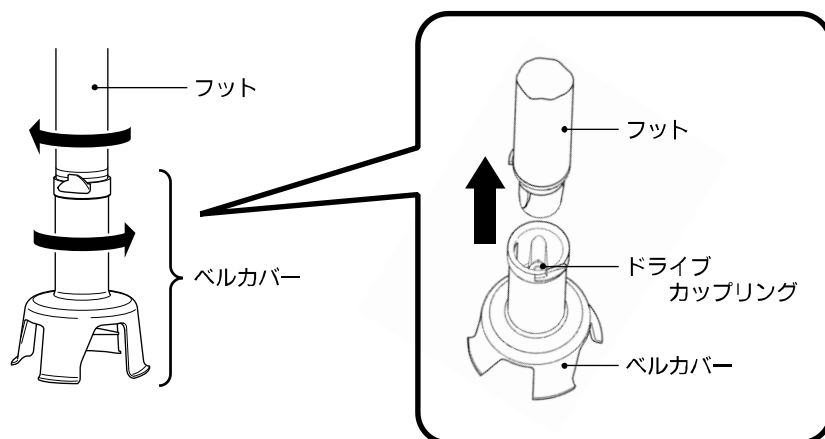


2. ミキサー部のフットから、ベルカバーを取り外してください

ベルカバーを矢印方向に回して、フットから取り外してください。

熱い食材（85℃以下）を調理したあとは、フットからベルカバーが取り外しにくくなる場合があります。

冷目でフットの先を冷やすと、フットからベルカバーが取り外しやすくなります。

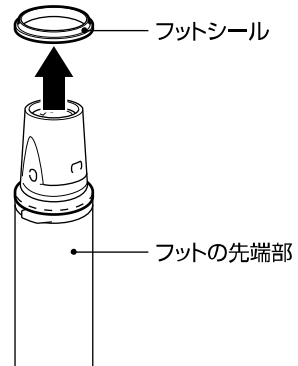


3. フットからフットシールを取り外してください

お願い

フットシールを取り外すときは、キズなどを付けないようにしてください。

フットシールが破損や劣化している場合、そこからフットやベルカバーの内部へ食材などが浸入する恐れがあり、故障の原因になります。



4. ベルカバーからナイフを取り外してください

警告

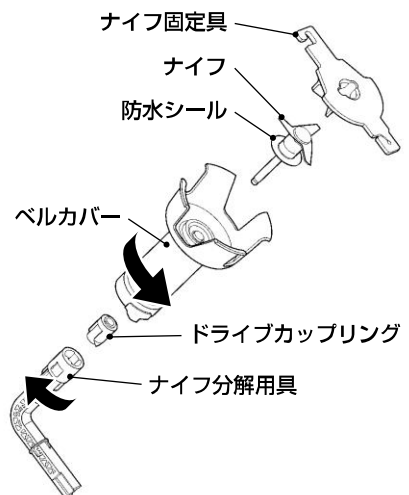


ベルカバー内へのナイフの取り付けや、取り外しのときは、付属のツールセットを使用し、料理用手袋や厚い布などで手を保護すること
ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

ツールセットのナイフ固定具を、ナイフが固定される向きに合わせてはめ込んでください。

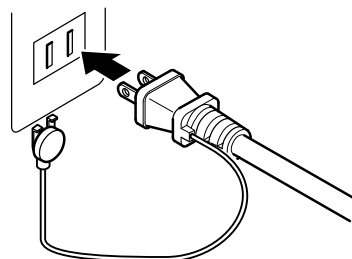
ツールセットのナイフ分解用具をドライブカップリングに差し込み、ナイフ固定具をしっかりと支えながら時計方向に回し、ドライブカップリングを取り外してください。

ベルカバーからナイフを抜き取ってください。



ミキサーを使って調理

1. 調理を始める前に「お手入れ」（32ページ）を参照して、ベルカバー、ナイフ、フットなど、食材が接する部分をきれいに洗浄してください
2. ご使用前に、「操作スイッチ」が解除位置（押ししても堅くて動かない状態）になっているか必ず確認してください
3. 電源コードが、ベルカバーやナイフに接触していないことを確認してください
4. 専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください



5. 食材の入った容器（底の平らな鍋など）に、本機のフットの先を差し込んでください

お願い

本機を食材に差し込む前にフットと、ベルカバーがしっかりと取り付けられているか確認してください。

食材の中にフットやベルカバーが落ちますと、フット内部に食材が浸入し、故障の原因になります。

本機は、落としたり、倒したりしないでください。

落としたり、倒したりしますと、故障の原因になります。

本機のフットやベルカバーを容器の縁や硬い物にぶつけないようにしてください。

フットやベルカバーが変形し、故障の原因になります。

空運転はしないでください。

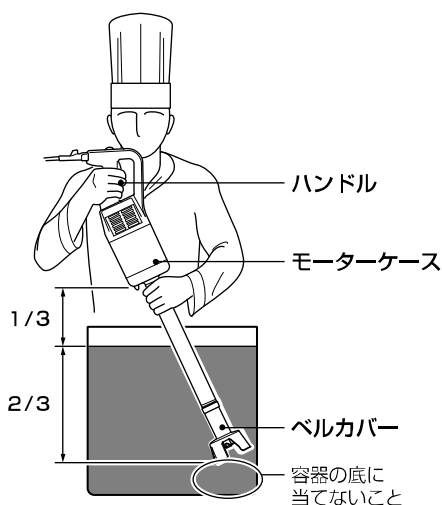
食材などに差し込まずに運転しますと、軸受け部が摩擦により早く損傷し、故障の原因になります。

ベルカバーが容器の底に当たらないように、本機を少し傾けてください。

ベルカバーを容器の底に当てて調理をおこなうと、容器内の対流が悪くなり攪拌ムラの原因になります。

調理中は、通風カバー部分をふさがないでください。

通風カバー部分をふさぐと、モーターケース内に熱がこもり、モーターが故障する原因になります。



お願い

フットの先（ベルカバーを含む）は、2 / 3 まで（目安）の範囲内を食材に差し込んでご使用ください。

食材の調理可能温度は、85℃以下ですので、85℃を超える食材は調理しないでください。

85℃を超える熱い食材を調理しますと、ベルカバー、フット、ナイフのプラスチック部分の変形や、変色の原因になります。

粘度の高い食材は、調理しないでください。

モーターに過負荷がかかると機械は停止します。

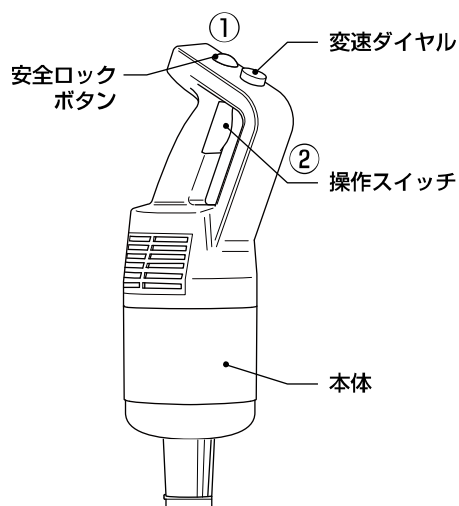
6. 「安全ロックボタン」を押しながら①、「操作スイッチ」を押して②ください

ナイフが回転し、食材を撈拌します。

お願い

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」は、必要以上に強く押さないでください。

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」を必要以上に強く押しますと故障の原因になります。



7. 「安全ロックボタン」から指を放してください

「操作スイッチ」を押さえている間、ナイフが回転します。

調理中は、ハンドルとフットの上部をしっかりとってください。

本機を容器の縁にもたせかけて使用することができます。

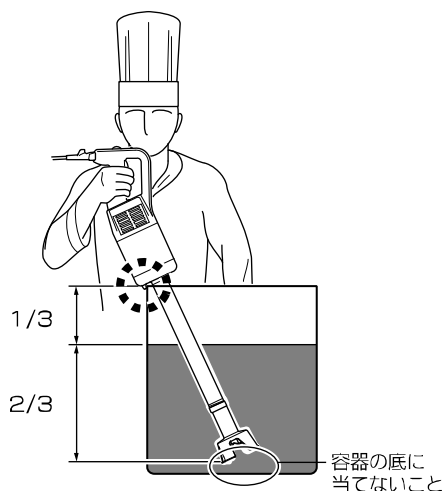
お願い

フット部分を食材に深く差し込み過ぎないようにしてください。

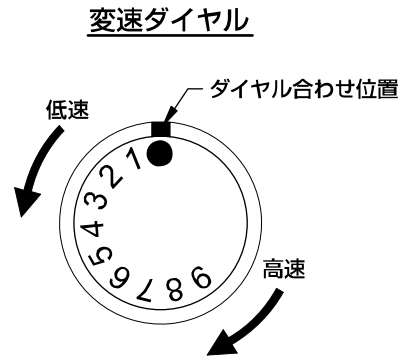
フットの先（ベルカバーを含む）から2 / 3 までが食材の中に入るように食材の量を調節してください。

連続運転の機能を使用しますと、楽に調理することができます。

「ミキサーと連続運転を使って調理」（18ページ）を参照してください。



8. 変速ダイヤルを「低速」～「高速」方向に回し、お好みの速度で食材を調理してください



9. 停止するときは、「操作スイッチ」から指を放してください

お願い

調理終了後は、変速ダイヤルを反時計方向に回して、「●」をダイヤル合わせ位置「■」に戻してください。

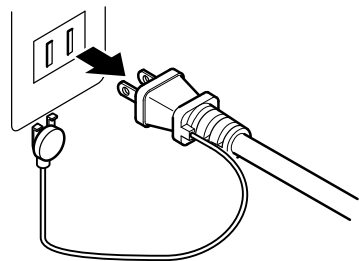
10. ナイフの回転が止まりましたら、本機を容器から抜いてください

警告



ナイフの回転が完全に止まってから、本機を容器から抜くこと
ナイフの回転が止まらないうちに容器から抜くと、ケガの原因になります。
食材が飛び散り、周囲をよごす原因になります。

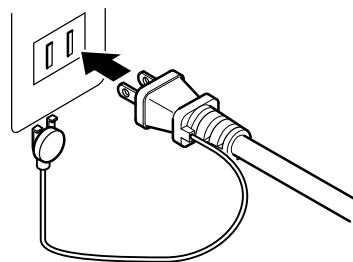
11. 電源プラグを抜いてください



ミキサーと連続運転を使って調理

長時間の攪拌調理をおこなうときは、「連続運転ロックボタン」を使用すると「操作スイッチ」を押し続ける必要がなくなります。

1. 調理を始める前に「お手入れ」（32ページ）を参照して、ベルカバー、ナイフ、フットなど、食材が接する部分をきれいに洗浄してください
2. ご使用前に、「操作スイッチ」が解除位置（押ししても堅くて動かない状態）になっているか必ず確認してください
3. 電源コードが、ナイフに接触していないことを確認してください
4. 専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください



5. 食材の入った容器(底の平らな鍋など)に、本機のフットの先を差し込んでください

お願い

本機を食材に差し込む前にフットと、ベルカバーがしっかりと取り付けられているか確認してください。

食材の中にフットやベルカバーが落ちますと、フット内部に食材が浸入し、故障の原因になります。

本機は、落としたり、倒したりしないでください。

落としたり、倒したりしますと、故障の原因になります。

本機のフットやベルカバーを容器の縁や硬い物にぶつけないようにしてください。

フットやベルカバーが変形し、故障の原因になります。

空運転はしないでください。

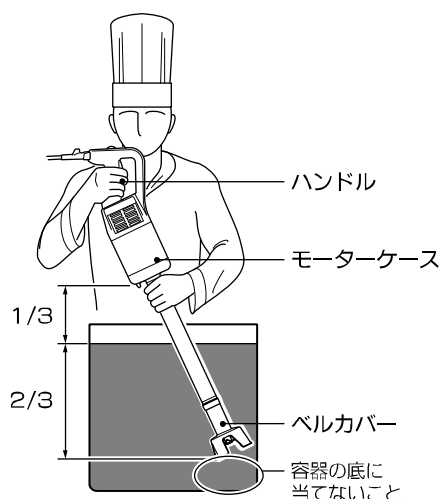
食材などに差し込まずに運転しますと、軸受け部が摩擦により早く損傷し、故障の原因になります。

ベルカバーが容器の底に当たらないように、本機を少し傾けてください。

ベルカバーを容器の底に当てて調理をおこなうと、容器内の対流が悪くなり攪拌ムラの原因になります。

調理中は、通風カバー部分をふさがないでください。

通風カバー部分をふさぐと、モーターケース内に熱がこもり、モーターが故障する原因になります。



お願い

フットの先（ベルカバーを含む）は、2 / 3 まで（目安）の範囲内を食材に差し込んでご使用ください。

食材の調理可能温度は、85℃以下ですので、85℃を超える食材は調理しないでください。

85℃を超える熱い食材を調理しますと、ベルカバー、フット、ナイフのプラスチック部分の変形や、変色の原因になります。

粘度の高い食材は、調理しないでください。

モーターに過負荷がかかると機械は停止します。

6. 「安全ロックボタン」を押しながら①、「操作スイッチ」を押して②ください

ナイフが回転し、食材を撈拌します。

お願い

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」、「連続運転ロックボタン」は、必要以上に強く押さないでください。

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」、「連続運転ロックボタン」を必要以上に強く押しますと故障の原因になります。



7. 「安全ロックボタン」から指を放してください

8. 「連続運転ロックボタン」を押して③ください

9. 「操作スイッチ」から指を放してください

10. 「連続運転ロックボタン」から指を放してください

ナイフは連続で回転します。

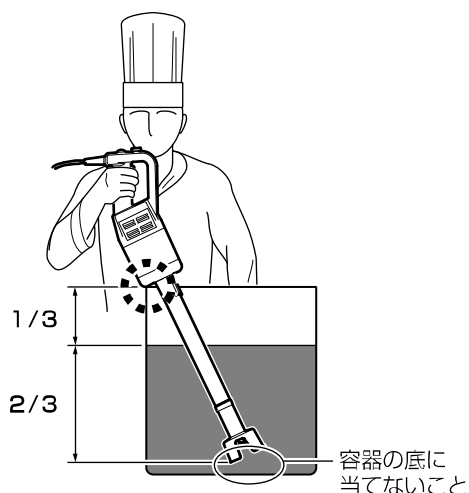
調理中は、ハンドルとフットの上部をしっかりと持ってください。

本機を容器の縁にもたせかけて使用することができます。

お願い

フット部分を食材に深く差し込み過ぎないようにしてください。

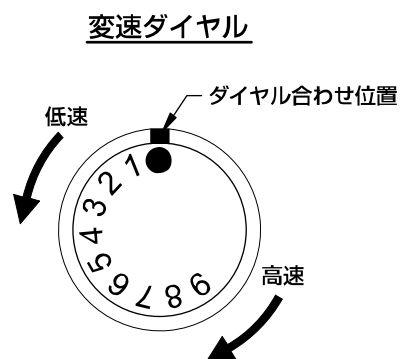
フットの先（ベルカバーを含む）から2 / 3 までが食材の中に入るように食材の量を調節してください。



オプションのパンサポートを使用しますと、容器に本機を固定でき、手で持たなくても調理できます。

「パンサポート (オプション) について」 (31 ページ) を参照してください。

11. 変速ダイヤルを「低速」～「高速」方向に回し、お好みの速度で食材を調理してください



12. 停止するときは、「操作スイッチ」をもう一度押してください

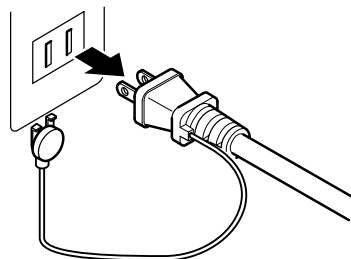
13. ナイフの回転が止まりましたら、本機を容器から抜いてください

警告



ナイフの回転が完全に止まってから、本機を容器から抜くこと
ナイフの回転が止まらないうちに容器から抜くと、ケガの原因になります。
食材が飛び散り、周囲をよごす原因になります

14. 電源プラグを抜いてください



ホイッパー

ホイッパー部の組み立て方法

⚠ 警告



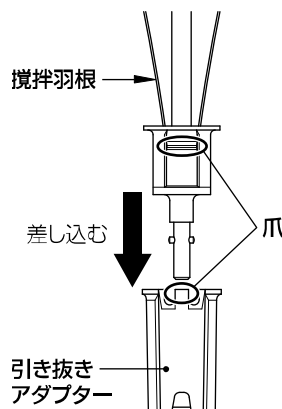
ミキサー部、またはホイッパー部の分解、組み立てのときは、操作スイッチを「OFF(切)」にして、必ず電源プラグを抜いてからおこなうこと
誤って、操作スイッチを押した場合、ケガの原因になります。

1. 引き抜きアダプターに攪拌羽根を取り付けてください

攪拌羽根の爪と、引き抜きアダプターの爪の向きを合わせて取り付けてください。

攪拌羽根は、「ガチッ」と入るところまで、しっかり差し込んでください。

もう1本も同様の手順で、取り付けてください。



2. 攪拌羽根をホイップボックスに取り付けてください

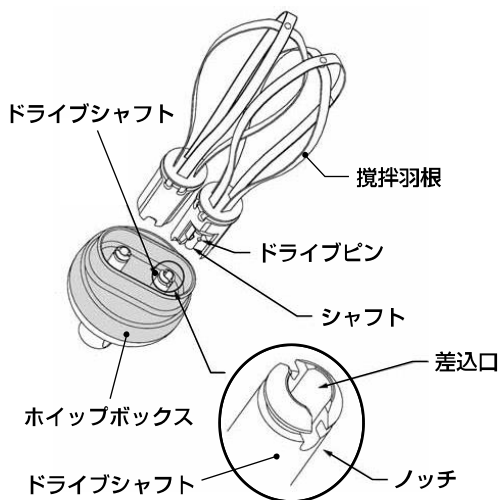
攪拌羽根のシャフトをホイップボックスのドライブシャフトの差込口に差し込んでください。

攪拌羽根のドライブピンと、ドライブシャフトのノッチの向きを合わせて、「カチン」と固定される位置まで、しっかり差し込んでください。

差し込めないときは、90° 角度をずらして差し込みなおしてください。

攪拌羽根を軽く引っ張って、固定されていることを確認してください。

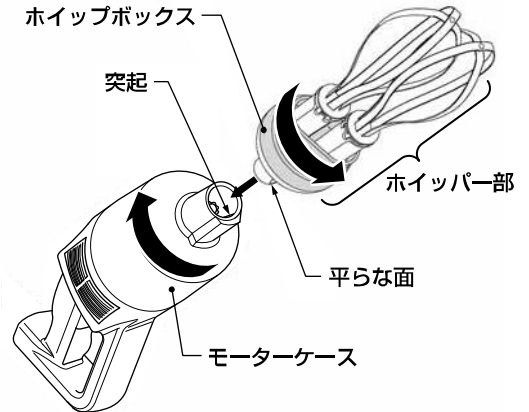
もう1本も同様の手順で、取り付けてください。



3. 本機のモーターケースに、ホイッパー部を取り付けてください

ホイップボックスの軸を軸にある平らな面と、モーターケースの軸穴内部にある突起とが合うようにして、差し込んでください。

モーターケースが動かないように押さえながら、ホイッパー部を右図のように反時計方向に回して取り外してください。



ホイッパー部の分解方法

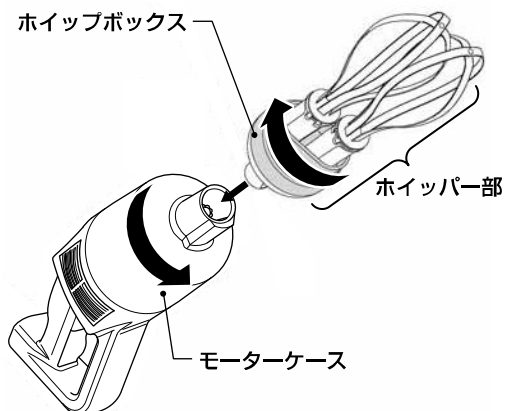
⚠ 警告



ミキサー部、またはホイッパー部の分解、組み立てのときは、操作スイッチを「OFF(切)」にして、必ず電源プラグを抜いてからおこなうこと
誤って、操作スイッチを押した場合、ケガの原因になります。

1. 本機のモーターケースからホイッパー部を取り外してください

モーターケースが動かないように押さえながら、ホイッパー部を時計方向に回して取り外してください。



2. ホイッパー部のホイップボックスから、攪拌羽根を取り外してください

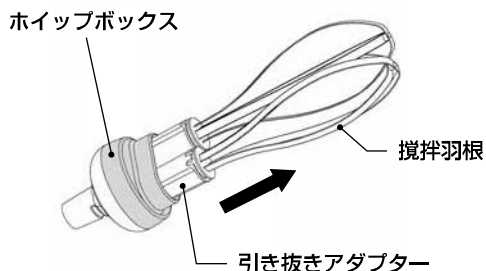
攪拌羽根は、引き抜きアダプターを持って、右図のように抜き取ってください。

引き抜きアダプターと一緒に、攪拌羽根が外れます。

お願い

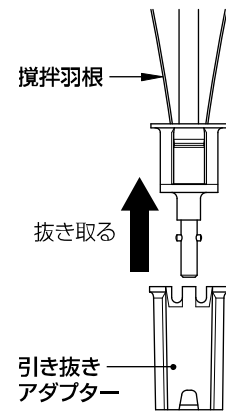
ホイップボックスから攪拌羽根を取り外すときは、引き抜きアダプターを持って抜き取ってください。

攪拌羽根は、引き抜きアダプターを持って抜かないと、取り外すことができません。



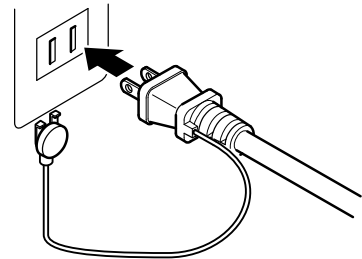
3. 引き抜きアダプターから攪拌羽根を取り外してください

攪拌羽根の根元あたりを持って、引き抜きアダプターから抜き取ってください



ホイッパーを使って調理

1. 調理を始める前に「お手入れ」（32ページ）を参照して、引き抜きアダプター、攪拌羽根など、食材が接する部分をきれいに洗浄してください
2. ご使用前に、「操作スイッチ」が解除位置（押ししても堅くて動かない状態）になっているか必ず確認してください
3. 電源コードが、ホイッパー部に接触していないことを確認してください
4. 専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください



5. 食材の入ったボウルなどに、本機の攪拌羽根の先を差し込んでください

お願い

本機を食材に差し込む前にホイップボックスがしっかりと取り付けられているか確認してください。

食材の中にホイップボックスが落ちますと、ホイップボックス内部に食材が浸入し、故障の原因になります。

本機は、落としたり、倒したりしないでください。

落としたり、倒したりしますと、故障の原因になります。

本機のホイッパー部分を容器の縁や硬い物にぶつけないようにしてください。

ホイッパー部分に変形すると、故障の原因になります。

空運転はしないでください。

食材などに差し込まずに運転しますと、軸受け部が摩擦により早く損傷し、故障の原因になります。

攪拌羽根が容器の底に当たらないように、本機を少し傾けてください。

攪拌羽根を容器の底に当てて調理をおこなうと、容器内の対流が悪くなり攪拌ムラの原因になります。

調理中は、通風カバー部分をふさがないでください。

通風カバー部分をふさぐと、モーターケース内に熱がこもり、モーターが故障する原因になります。



お願い

攪拌羽根が絶対にボウルの側面に触れないように気をつけて、攪拌羽根の先が1/5は食材の中に浸かるようにしてください。

攪拌羽根の先は少なくとも1/5が食材に浸かっていないと上手に攪拌できません。

粘度の高い食材は、調理しないでください。

モーターに過負荷がかかると機械は停止します。

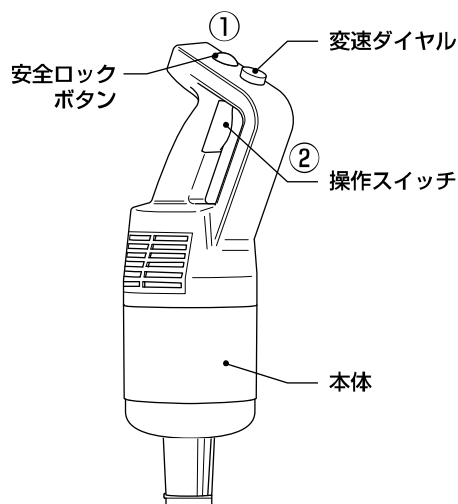
6. 「安全ロックボタン」を押しながら①、「操作スイッチ」を押して②ください

攪拌羽根が回転し、食材を攪拌します。

お願い

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」は、必要以上に強く押さないでください。

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」を必要以上に強く押しますと故障の原因になります。



7. 「安全ロックボタン」から指を放してください

「操作スイッチ」を押さえている間、攪拌羽根が回転します。

調理中は、ハンドルとホイップボックスの上部をしっかりと持ってください。

お願い

攪拌羽根を食材に深く差し込み過ぎないようにしてください。

引き抜きアダプターが食材に浸からないように食材の量を調節してください。

連続運転の機能を使用しますと、楽に調理することができます。

「ホイッパーと連続運転を使って調理」(28ページ)を参照してください。



8. 変速ダイヤルを「低速」～「高速」方向に回し、お好みの速度で食材を調理してください

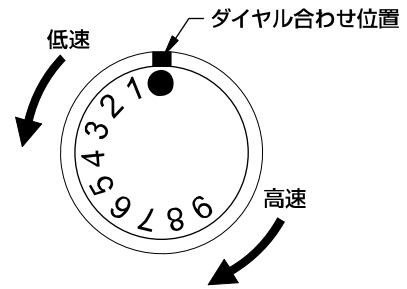
初めは、低速で始めてから、お好みの回転速度にしてください。

ダイヤル合わせ位置「■」に、変速ダイヤルの「●」を合わせると、回転と停止を連続して繰り返すジャーキー運転になります。

ジャーキー運転は、ホイッパーを使ってピューレを作るのに適しています。

マッシュポテトを作る際に、湯がいたジャガイモをつぶすのにも便利です。

変速ダイヤル



9. 停止するときは、「操作スイッチ」から指を放してください

お願い

調理終了後は、変速ダイヤルを反時計方向に回して、「1」をダイヤル合わせ位置「■」に戻してください。

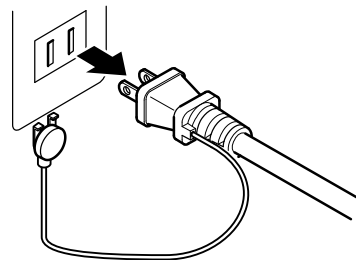
10. 攪拌羽根の回転が止まりましたら、本機を容器から抜いてください

警告



攪拌羽根の回転が完全に止まってから、本機を容器から抜くこと
攪拌羽根の回転が止まらないうちに容器から抜くと、ケガの原因になります。
食材が飛び散り、周囲をよごす原因になります。

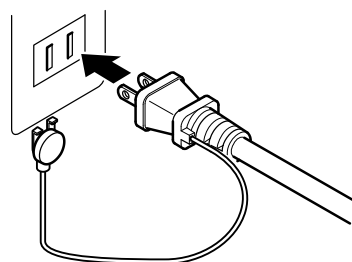
11. 電源プラグを抜いてください



ホイッパーと連続運転を使って調理

長時間の攪拌調理をおこなうときは、「連続運転ロックボタン」を使用すると「操作スイッチ」を押し続ける必要がなくなります。

1. 調理を始める前に「お手入れ」（32ページ）を参照して、引き抜きアダプター、攪拌羽根など、食材が接する部分をきれいに洗浄してください
2. ご使用前に、「操作スイッチ」が解除位置（押ししても堅くて動かない状態）になっているか必ず確認してください
3. 電源コードが、ホイッパー部に接触していないことを確認してください
4. 専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください



5. 食材の入ったボウルなどに、本機のフットの先を差し込んでください

お願い

本機を食材に差し込む前にホイップボックスがしっかりと取り付けられているか確認してください。

食材の中にホイップボックスが落ちますと、ホイップボックス内部に食材が浸入し、故障の原因になります。

本機は、落としたり、倒したりしないでください。

落としたり、倒したりしますと、故障の原因になります。

本機のホイッパー部分を容器の縁や硬い物にぶつけないようにしてください。

ホイッパー部分に変形すると、故障の原因になります。

空運転はしないでください。

食材などに差し込まずに運転しますと、軸受け部が摩擦により早く損傷し、故障の原因になります。

攪拌羽根が容器の底に当たらないように、本機を少し傾けてください。

攪拌羽根を容器の底に当てて調理をおこなうと、容器内の対流が悪くなり攪拌ムラの原因になります。

調理中は、通風カバー部分をふさがないでください。

通風カバー部分をふさぐと、モーターケース内に熱がこもり、モーターが故障する原因になります。



お願い

攪拌羽根が絶対にボウルの側面に触れないように気をつけて、攪拌羽根の先が1/5は食材の中に浸かるようにしてください。

攪拌羽根の先は少なくとも1/5が食材に浸かっていないと上手に攪拌できません。

粘度の高い食材は、調理しないでください。

モーターに過負荷がかかると機械は停止します。

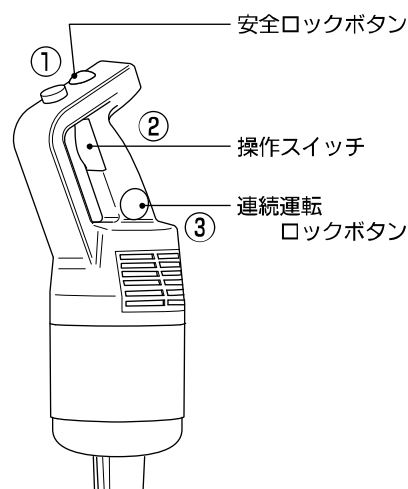
6. 「安全ロックボタン」を押しながら(①)、 「操作スイッチ」を押して(②)ください

攪拌羽根が回転し、食材を攪拌します。

お願い

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」、
「連続運転ロックボタン」は、必要以上に強く押さないでください。

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」、
「連続運転ロックボタン」を必要以上に強く押しますと故障の原因になります。



7. 「安全ロックボタン」から指を放してください

8. 「連続運転ロックボタン」を押して(③)ください

9. 「操作スイッチ」から指を放してください

10. 「連続運転ロックボタン」から指を放してください

攪拌羽根は連続で回転します。

調理中は、ハンドルとホイップボックスの上部をしっかりと持ってください。

お願い

攪拌羽根を食材に深く差し込み過ぎないようにしてください。

引き抜きアダプターが食材に浸からないように食材の量を調節してください。



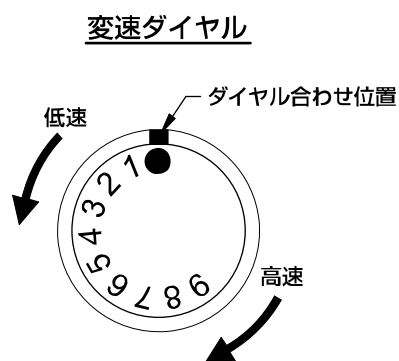
11. 変速ダイヤルを「低速」～「高速」方向に回し、お好みの速度で食材を調理してください

初めは、低速で始めてから、お好みの回転速度にしてください。

ダイヤル合わせ位置「■」に、変速ダイヤルの「●」を合わせると、回転と停止を連続して繰り返すジャーキー運転になります。

ジャーキー運転は、ホイッパーを使ってピューレを作るのに適しています。

マッシュポテトを作る際に、湯がいたジャガイモをつぶすのにも便利です。



12. 停止するときは、「操作スイッチ」をもう一度押してください

お願い

調理終了後は、変速ダイヤルを反時計方向に回して、「1」をダイヤル合わせ位置「■」に戻してください。

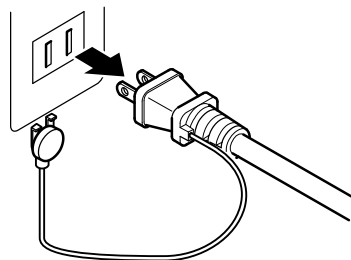
13. 攪拌羽根の回転が止まりましたら、本機を容器から抜いてください

警告



攪拌羽根の回転が完全に止まってから、本機を容器から抜くこと
攪拌羽根の回転が止まらないうちに容器から抜くと、ケガの原因になります。
食材が飛び散り、周囲をよごす原因になります

14. 電源プラグを抜いてください



パンサポート(オプション)について

オプションのパンサポート(オプション)を使用しますと、容器の縁に本機を取り付けることで、手で持たなくても調理できます。

⚠ 警告

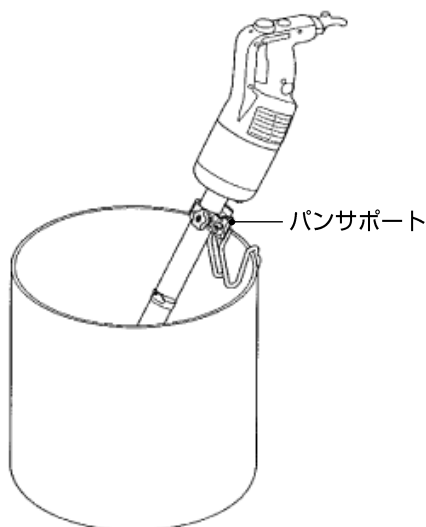


パンサポート(オプション)を使用する場合は、容器に食材を入れた状態で、本機を十分にささえる重さにすること

本機を落としたり、倒れたりしますと、ケガの原因になります。
食材が入った容器を倒した場合、周囲を汚す原因になります。
熱い食材が入った容器を倒した場合、やけどの原因になります。

パンサポート(オプション)を使用するときは、本機が倒れないようにしっかり固定すること

本機を倒したりしますと、ケガの原因になります。
食材が入った容器を倒した場合、周囲を汚す原因になります。
熱い食材が入った容器を倒した場合、やけどの原因になります。



お願い

本機を落としたり、倒したりしないでください。

本機を落としたり、倒したりした場合、故障の原因になります。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」をおこなってください

初めて機械を使用する場合。
調理後、速やかに。
繰り返し使用する場合、30分おき。

⚠ 警告



モーターケースに直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



お手入れや点検のときは、「操作スイッチ」が解除位置になっているか確認し、電源プラグを抜くこと
誤って、「操作スイッチ」が入った場合、ケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。

お願い

ベルカバー、フット、ナイフ、ホイップボックス、攪拌羽根、引き抜きアダプターは、食器洗浄機などは使用せずに 85℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると樹脂部分の変形や、変色の原因になります。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損したりする原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいしてから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

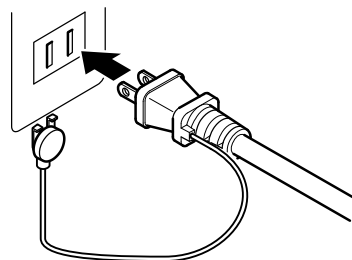
除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

お手入れ

1. お手入れの前に、「操作スイッチ」が解除位置（押ししても堅くて動かない状態）になっているか必ず確認してください
2. 電源コードが、ミキサー部、またはホイッパ一部に接触していないことを確認してください
3. 専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください



4. 水または温水を入れた別の容器を用意して、フット、または攪拌羽根の食材が付着している部分まで差し込んでください
5. 「安全ロックボタン」を押しながら①、「操作スイッチ」を押して②ください
ナイフが回転します。



お願い

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」は、必要以上に強く押さないでください。
「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」を必要以上に強く押しますと故障の原因になります。

6. 「安全ロックボタン」から指を放してください

「操作スイッチ」を押さえている間、ナイフ、または攪拌羽根が回転します。約10秒間、ナイフ、または攪拌羽根を回転させ、付着した食材を洗い落としてください。ハンドルとフットの上部分をしっかり持ってください。

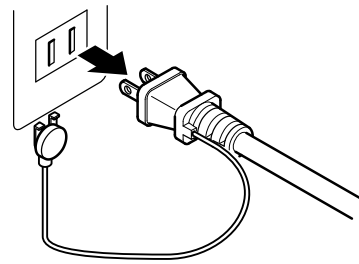
お願い

フット部分を容器内の水に深く差し込み過ぎないようにしてください。

7. 停止するときは、「操作スイッチ」から指を放してください

8. ナイフの回転が止まりましたら、フット部分を容器から抜いてください

9. 電源プラグを抜いてください



10. 本機のモーターケースからミキサー部、およびホイッパー部を取り外して、分解してください

ミキサー部を装着している場合、「ミキサー部の分解方法」（13ページ）を参照してください。

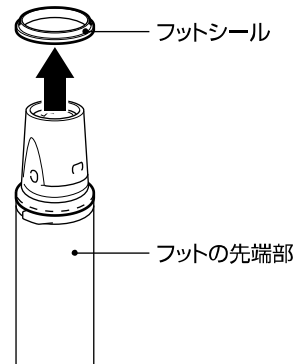
ホイッパー部を装着している場合、「ホイッパー部の分解方法」（23ページ）を参照してください。

11. 本機のフットからフットシールを取り外してください

お願い

フットシールを取り外すときは、キズなどを付けないようにしてください。

フットシールが破損や劣化している場合、そこからフットやベルカバーの内部へ食材などが浸入する恐れがあり、故障の原因になります。



12. ナイフとフットシールを除菌洗剤できれいに洗浄してください

警告



ナイフの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤って刃に触れた場合、ケガの原因になります。

注意



お手入れのときは、ナイフを洗剤液の入ったコンテナやシンクなどに、漬けたままにしておかないこと
泡でナイフの刃が見えなくなり、誤ってナイフの刃に触れると、ケガの原因になります。

ナイフとフットシール、および攪拌羽根と引き抜きアダプターを定められた使用濃度の除菌洗剤剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジできれいに洗浄してください。

お願い

硬いタワシなどでこすらないでください。

樹脂の部品にキズがつく原因になります。

ナイフ、および攪拌羽根の洗浄は、速やかにおこない、洗浄液や水、湯に漬けたままにしないでください。

漬け置きをしますと、金属部分が錆びる原因になります。

13. ナイフとフットシール、および攪拌羽根と引き抜きアダプターは、流水で十分すすぎ洗いをして、洗剤成分を完全に洗い流してください
14. ベルカバーとフット、およびホイップボックス、モーターケースの外装部は、除菌洗剤剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、付着した食材などをきれいに拭き取ってください

警告



モーターケースに直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

硬いタワシなどでこすらないでください。

樹脂の部品にキズがつく原因になります。

ベルカバー、フット、ホイップボックスの内部に洗浄液や水が浸入しないようにしてください。

洗浄液や水が浸入しますと、ベアリングなどが錆びる原因になります。

15. ベルカバーとフット、およびホイップボックス、モーターケースの外装部をすすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取ってください
16. ベルカバーとフット、およびホイップボックス、モーターケースの外装部は、除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分空気乾燥させてください

17. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で、ナイフとベルカバー、フット、および攪拌羽根、引き抜きアダプター、ホイップボックス、モーターケースの外装部を拭いて除菌をおこなってください

18. 各部品を元通り組み立ててください

⚠ 警告

! ベルカバー内へのナイフの取り付けや、取り外しのときは、付属のツールセットを使用し、料理用手袋や厚い布などで手を保護すること
ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

ミキサー部を装着している場合、「ミキサー部の組み立て方法」（18ページ）を参照してください。

ホイッパー部を装着している場合、「ホイッパー部の組み立て方法」（28ページ）を参照してください。

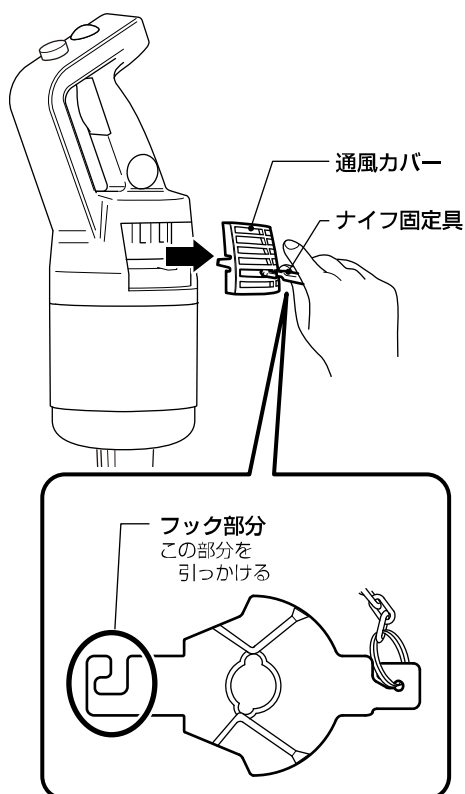
19. 付属のツールセットのナイフ固定具のフック部分を通風カバーに引っ掛け、通風カバー（2箇所）を外してください

20. モーターケースの内部に溜まったホコリなどを取り除いてください

⚠ 警告

⊘ モーターケースに直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

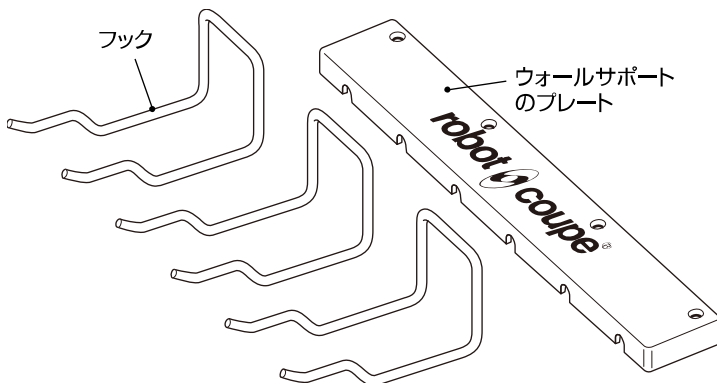
21. 清掃後は、忘れずに通風カバーを取り付けてください



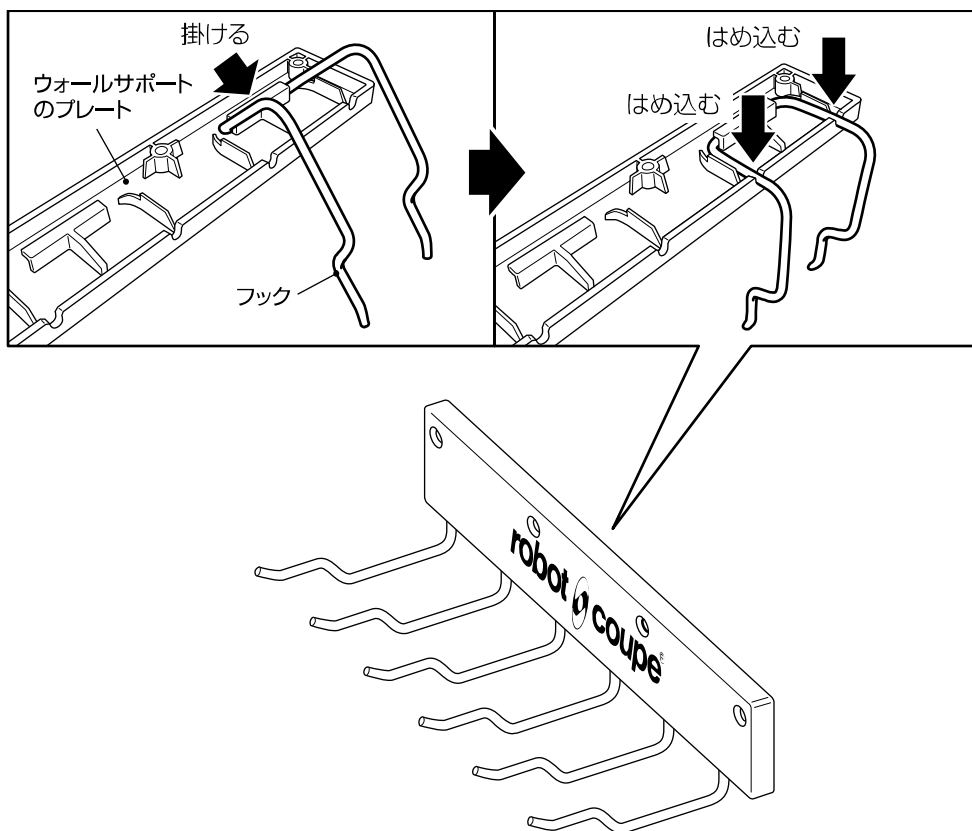
収納について

本機を使用しないときは、付属のウォールサポートに掛けて収納してください

ウォールサポートを使用する場合は、組み立てる必要があります。



ウォールサポートのプレートにフックを取り付けて組み立ててください。



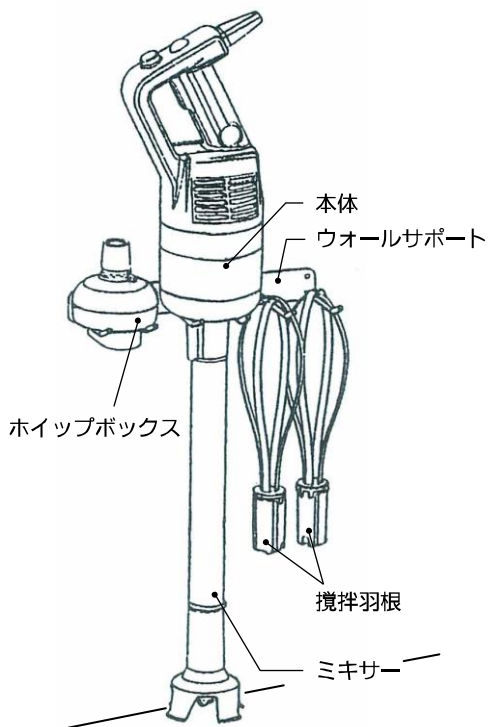
組み立てたウォールサポートは、本機の質量を十分に支えることができる丈夫な壁面にお手持ちのビスなど（2箇所）で取り付けてください。

ウォールサポートは、右図のようにベルカパーの部分が作業台などの上に付く状態で、モーターケースを保持できる位置に取り付けてください。

お願い

床に立てて置いたり、調理台の上に横にして置いておきますと、転倒したり、落下したりして故障の原因になります。

ウォールサポートを取り付ける壁面は、必ず、本機の質量を十分に支えることができる丈夫な壁を選んでください。
壁面が弱い場合、ウォールサポートが外れて転倒したり、落下したりしてケガの原因になります。



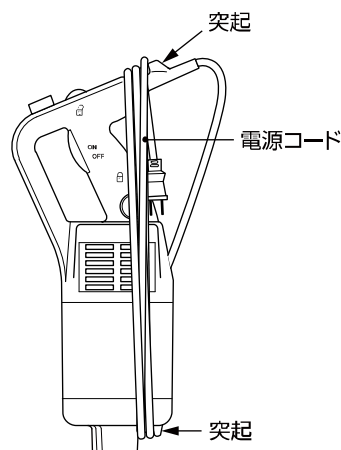
本機を使用しないときの電源コードは、モーターケースに巻き付けておいてください

右図のように電源コードのコンネクター部の突起と、モーターケースの下部にある突起にかけるように電源コードを巻いてください。

お願い

電源コードは、軽く巻き付ける程度にしてください。

電源コードを強い力で引っ張ったり、強い力で巻き付けたりしますと、断線の原因になります。



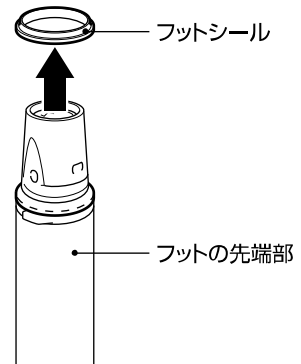
フットシールの交換

フットの先端部のフットシールが、破損または劣化している場合は、付属のフットシール（予備）と交換してください

お願い

フットシールを交換するときは、キズなどを付けないようにしてください。

フットシールが破損や劣化している場合、そこからフットの内部へ食材などが浸入する恐れがあり、故障の原因になります。



本機から電源コードを取り外すには

電源コードを本機から取り外す必要がある場合は、以下の方法で取り外してください。

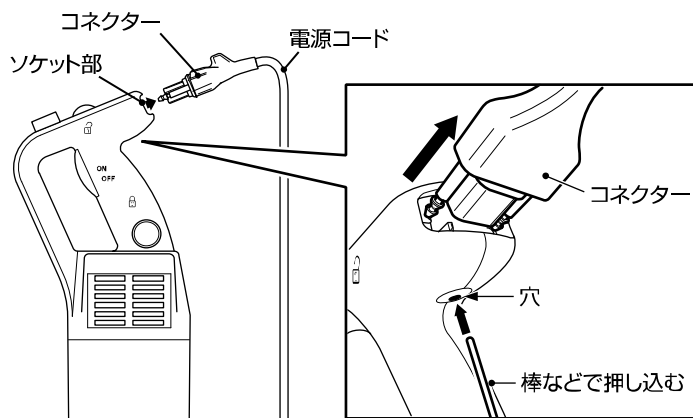
お願い

電源コードは、不具合などで交換が必要なとき以外は、本機から取り外さないでください。

本機の取手部分にあります穴の中にあるボタンを押し込みながら、電源コードのコネクター部分を持って、取り外してください

本機の取手部分にあります小さい穴の中にあるボタンを押し込みながら、電源コードのコネクター部分を持って、取り外してください。

ボタンは、硬い棒などを使って押し込んでください。



故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の「操作スイッチ」を切りの状態にして機械を止め、電源プラグを抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
「操作スイッチ」を入れても動作しない。	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグが抜けている場合は、コンセントに、電源プラグを差し込んでください。
	「安全ロックボタン」を押していますか？	「安全ロックボタン」を押しながら「操作スイッチ」を押してください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	連続運転調理中に電源プラグが抜けたり、停電したりしませんでしたか？	連続運転調理中、通電が遮断（停電、コード抜けなど）した場合は、通電遮断安全装置が作動し、機械が止ります。再度、「安全ロックボタン」を押しながら「操作スイッチ」を入れてください。
本機から異常音が発生する。	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	ナイフやベルカバーは、正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
回転振動が大きい。	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF（切）」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF（切）」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF（切）」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

状 態	確認 / 症状	手 当
調理中に本機が止まった。	モーターケースが異常に熱くなっていますか？	<p>本機には、モーター保護装置が付いており、モーターが過熱した場合、自動的に機械が止まります。</p> <p>モーター保護装置がはたらいて止まったときは、「操作スイッチ」を切りの状態にし、電源プラグを抜いてください。</p> <p>モーターへの過負荷の原因を取り除いて、モーターを1時間以上休ませて冷ましてください。</p> <p>モーターが作動できる温度まで冷めますと、モーター保護装置が自動的に復帰します。</p> <p>電源プラグをコンセントに差し込み、「安全ロックボタン」を押しながら、「操作スイッチ」を押して、正常に動作すればモーター保護装置は復帰しています。</p> <p>復帰を確認後、改めて調理を始めてください。</p>

仕様

品名	スティックブレンダー（コンビタイプ）【ロボクーブ】			
型式	MP-350UC		MP-450UC	
外形寸法	ミキサー装着時	ホイッパー装着時	ミキサー装着時	ホイッパー装着時
	幅 125・奥行 180 ・高さ 780mm	幅 125・奥行 180 ・高さ 805mm	幅 125・奥行 180 ・高さ 880mm	幅 125・奥行 180 ・高さ 805mm
電源	100V 50 / 60Hz			
電流	4.0A			
消費電力	360W			
回転数	3,000 ～9,200rpm 【無負荷時】	500 ～1,400rpm 【無負荷時】	3,000 ～9,200rpm 【無負荷時】	500 ～1,400rpm 【無負荷時】
安全装置	モーター保護装置、通電遮断安全装置			
変速器	無段階変速	減速器付無段階変速	無段階変速	減速器付無段階変速
材質	モーターケース	プラスチック、アルミ、ステンレス		
	ベルカバー	ステンレス		
	ナイフ	ステンレス		
	攪拌羽根	ステンレス		
最大処理物深さ	320mm	220mm	420mm	220mm
質量	5.1kg	5.1kg	5.3kg	5.1kg
電源コード	長さ：3.6m			

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品	電源コード（3.6m）	1本
	フットシール（予備）	1個
	ウォールサポート	1セット
	ツールセット	1個
オプション	パンサポート	

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

ナイフ	オイルシール
カーボンブラシ	フットシール
攪拌羽根	電源コード
ウォールサポート	ツールセット

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>